

# 医療情報室レポート

2005年7月29日

福岡市医師会医療情報室  
TEL852-1501・FAX852-1510

## 特集：福岡県西方沖地震への対応-その2-

### モバイル一斉連絡システムの構築

福岡県西方沖地震の発生から4ヶ月が経過した。今月23日には千葉県北西部を震源とする地震が発生し、東京都を中心に最大震度5強を記録した。天候については予報を元にある程度災害への対策は可能であるが、ある日突然襲われる「地震」への対策は蔑ろにされがちである。日常生活の中で携帯電話などによる通信網が当たり前のよう存在する今、災害時における通信手段の確保は不可欠である。

福岡市医師会では、阪神・淡路大震災から10年目を迎え、非常時の緊急連絡手段を今年2月から開発に着手、6月より「福岡市医師会モバイル一斉連絡システム」の運用を始めた。本システムは、災害時に携帯電話の通信状態が悪くなる影響を殆ど受けず、緊急連絡・安否確認ができるよう構築されたものである。

医師会単位での緊急連絡システムの導入は全国的にも珍しく、今回は、本システムの概要やアンケート集計結果などについてまとめてみた。

#### システムの概要

##### ★福岡市医師会モバイル一斉連絡システム

○本会では、大規模災害や感染症の集団発生などの緊急時に携帯電話の電子メールを利用し「一斉配信・安否確認・情報伝達・情報収集と集計等」を簡単に実施できるシステムを民間企業と共同開発、本年6月1日から運用を開始している。

#### ★災害発生時

- 安否確認 …… 登録会員に一斉同報し安否確認を行う。  
登録会員は、送信されたメールからインターネット上のアンケート画面に接続。  
登録会員本人の安否、周辺状況、医療機関の被災状況と診療の可否、患者の受け容れ可能体制などを回答。
- 行政との連携 …… システムで収集した情報を行政などと共有し被害者の救助活動などに活用。

#### ★通常時

- 会員への情報配信 …… 会員に必要と思われる情報を配信予定。  
(福岡市医師会週報の目次、講演会、研修会など)
- リサーチ機能 …… 研修会の参加申込やアンケートの回答など簡単に利用可能。

#### ★災害時の通信環境

- 災害時には通信環境に次のような状況が発生し通常の通信が出来ない。
- 1. 被災地の(通信)施設の機器の故障、断線など。
- 2. 被災者に向けた安否確認の殺到。  
電話が集中し繋がらなくなる輻輳ふくそうと呼ばれる状況が発生。
- 3. 通信機関が通話を制限する。  
(被災地における救助要請の連絡、被災地内での安否確認など通話が必要となるケースがあるため)

#### ★一般的な対処法

- 災害用の伝言板など
  - ・災害用伝言ダイヤル171
  - ・ケータイ「災害用伝言板」  
(NTTドコモグループ、au、ツーカーグループ、ボーダフォン)
  - ・携帯電話メール等
- 被災地からの電話は公衆電話が比較的繋がり易い。
- 災害時の安否確認方法を予め親族内で決めておく。
- 繋がった場合、要件は手短にする。
- 被災地内の緊急な電話が利用できるようにするため、不急な電話やリダイヤルを控える。

